

# NIC

## TOPICS

JANUARY  
2023

- innovation
- project
- happy work place
- collaboration
- solution
- open laboratory
- sustainable
- prototyping
- playful
- coworking
- network
- fail fast
- efficiency
- serendipity
- creating shared value
- diversity
- exciting
- heart to heart

5<sup>th</sup>  
anniversary



夏至のひととき、太陽光が降り注ぐNICの内部フロア

## 次のイノベーションをアクティベート。 違いを掛け合わせよう

2017年にオープンしたNICも5年が経ちました。想像していたよりもはるかに多岐にわたる方面から、実にたくさんの方々に来社いただき、新たなつながりが生まれました。様々な開発案件の進行や技術的な交流はもちろん、働き方、ファシリティマネジメントなど、多面的なテーマでのコミュニケーションが行われています。我々は同じ会社で働いていても驚くほど違う仕事をし、異なる考えを持っています。また社外の方から全く違う意見を聞き入れることで解決の糸口を見つけ、新しい技術を生み出しています。まさにNICは違いを掛け合わせる、そんな創発の場(知のアクティベート)を目指しています。激動の経営環境が続きますが、NICを起点として世のため人のため、暮らしや社会に役立つ企業として皆さんと一緒に大きなチャレンジをしてまいります。また明日から、NICはワイワイガヤガヤなコミュニケーションの場として皆さんをお待ちしています。

代表取締役社長 江守康昌



HAPPY WORK PLACE  
ワクワクする出会いは、イノベーションを導く。

## 異なる領域の 「知」を組み合わせる

トヨタ自動車株式会社 ZEVファクトリー 前副本部長 豊島浩二氏のNICガーデンレクチャー(2017年)がきっかけで、トヨタと当社の若手社員の交流がスタート。オンラインでの交流からface to faceのつながり、そしてより深い技術交流へと発展しています。12月には現副本部長 石島崇弘氏が来社。石島氏からも、「イノベーションは遠い知と知が交わることから生まれる。今後も日華化学との知の探索を続けていきたい」とコメントをいただきました。業界は異なりますが、今後も情報交換をしながら継続的な取り組みを進めていきます。



6/9 トヨタZEVファクトリーメンバー来社  
EV自動車の見学、ZEVとNICをライブ中継したオフィス見学、互いの技術・製品の未来を考えるワークショップを行いました。



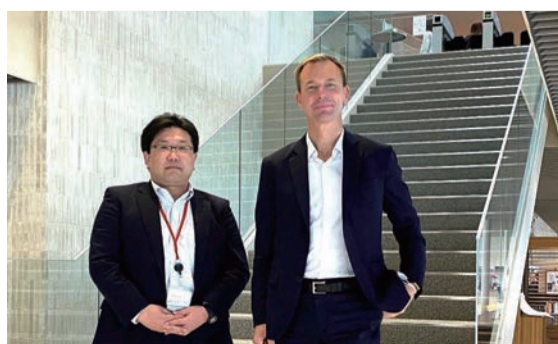
11/17~18 トヨタZEVファクトリー訪問  
サンプル品を用いて技術プレゼンテーションを行い、様々なアイデアが飛び交いました。



12/2 石島氏来社  
当社若手社員とのディスカッション、石島氏によるNICガーデンレクチャー「電気自動車を学ぼう!」も開催しました。

## NICは次の技術に つなげる場

2022年も幾度となくコロナの波にのまれながらも、少しずつ前へ進もうと活動しています。制限がある中で次の技術につながる協業の可能性を探り、様々なテーマで多様な業界の方々とのコミュニケーションを行っています。NICに一度来られた方が、また次のメンバーを呼んでくださるパターンも増えています。



スウェーデン国立研究機関(RISE)のAlberius博士は、国際ビジネス開発のキーマンで界面科学の専門家です。6月に当社がRISEを訪問したことをきっかけに、環境問題を中心とした課題についてRISEのスペシャリストらと協業の可能性について検討を進める予定です。



産業技術総合研究所の石村理事長(写真右)、栗本理事(写真左)のご一行が来社。共同研究したナノ金属粒子について、江守社長が説明するひとコマ。



ソルベイ社のエグゼクティブバイスプレジデントのMetivier博士(前列右)が来社。1996年のローヌ・プーラン日華の設立時から、親会社のR&Dディレクターで現在のソルベイ日華の事業につながっています。





MO-SO活動でのディスカッション



北陸技術交流テクノフェア2022で2日間にわたり実演しました。

## MO-SO活動から アップサイクル技術が誕生



ネオクロマト加工 (イメージ)  
[https://youtu.be/GUcVjU\\_L-AM](https://youtu.be/GUcVjU_L-AM)



部門を超えて集まった初期のMO-SO活動メンバー



サーキュラーアワード  
<https://awrd.com/award/crqlr-2022/result/>  
「捨てずに無地に戻す賞」

© 2022 Loftwork Inc.  
<https://creativecommons.org/licenses/by-nd/4.0/deed.ja>

2022年4月、「ネオクロマト加工」というポリエステル繊維の抜染技術をリリースしました。この技術は、ガーデンレクチャーに触発されて始まった社内での自発的なものづくりの部外活動「MO-SO(妄想)ミーティング」がきっかけとなり生まれました。課題解決を自由に妄想し、自分たちの持っている知識やデータを活用、さらにエレファンテック(株)やジャパンポリマーク(株)といった社外のメンバーと実用化検討を繰り返し完成したものです。なお、2022年12月に発表された「サーキュラーアワード」(循環型経済をデザインするプロダクトやアイデアを世界から募集するアワード)にて、「捨てずに無地に戻す賞」をエレファンテック社と共に受賞いたしました。



トリートメントづくりで界面科学を体験



研究員と理系学生とのディスカッション

## SDGsと日華のモノづくり

### 地域の学生に向けた社会貢献活動

2022年度は、福井県内の小学校から大学まで、のべ23校・約600名の学生が来社。目的の多くは、地域の(魅力ある)企業を訪問し、企業が取り組むSDGs活動について知る・職業観について学ぶこと。各学校と事前に打ち合わせを行い、目的を実現できるようにアレンジして受け入れを行いました。SDGsについては、日華化学の環境に配慮したモノづくりについて説明を行ったり、ネオクロマト加工の実演などでアップサイクルの理解を深めてもらったりしました。また、理系学生向けに界面科学の面白さや研究開発と社会のつながりを伝え、あわせて学生からの質問にそれぞれの社員が答える形で、働き甲斐・嬉しかったこと・今後の目標など「働くこと」について考えてもらう機会となりました。

## NICガーデンレクチャー

社員向け勉強会「NICガーデンレクチャー」では、サステナビリティに関する2つの講演を開催しました。



### サステナビリティの実現に向けたブリヂストンの取り組み

○株式会社 ブリヂストン  
Gサステナビリティ部門 部門長 稲継 明宏 氏

サステナビリティに取り組む必要性、ブリヂストンの社会課題、経営戦略、企業文化との統合など、様々な視点から最新事例を教えてくださいました。



### アートで世界を救う！ガーナの環境・貧困問題解決への挑戦

○MAGO MOTORS JAPAN 株式会社  
取締役 木村 太一 氏

NICギャラリーにMAGO作品を展示したご縁から本講演を開催。ガーナが抱える社会課題と活動内容、サステナブル事業の実装方法、アントレプレナーシップ精神などを教えてくださいました。

## ニトリの家具と コラボレーション



抗菌防臭・抗ウイルス加工剤「ニッカノンRB-40」を塗布した、株式会社ニトリのダイニングセットの店頭販売が3月から開始されました。今回、そのダイニングセットをNICに設置しました。木製家具の温もりに安全な機能性がプラスされ、長く愛用いただける商品です。

## 令和4年度近畿地方発明表彰 近畿経済産業局長賞受賞

～キャタライザー型脱墨剤～

今回受賞した「キャタライザー型脱墨剤」は、これまで困難とされてきたUV硬化型インクが使用された印刷物の古紙リサイクルを可能にしました。当社の触媒技術を応用展開した福井発・世界初の技術で、UV印刷物および古紙全体のリサイクルを推進したことが評価されました。2021年の福井県科学学術大賞受賞に続く快挙です。

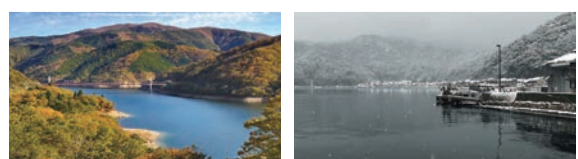


## NIC アートギャラリー



MAGO氏の廃材アート作品  
「Flower give me a smile」

福井にゆかりのある様々な分野のアーティストを支援しながら、NICに訪れるお客様や社員に新鮮な驚きと好奇心の種を毎回提供するギャラリー。2022年は、電子機器の廃材でアート制作を手がける美術家 MAGO(長坂真護)氏、写真家 たり直樹氏の作品などを展示しました。



たり直樹氏の風景写真 左/「紅葉の九頭竜湖」 右/「美浜町日向の日向湖畔」

## Editor's note

日華化学のコア技術である界面科学は、あらゆるものの境界面を活性(Surface Active)にすることで、様々な課題を解決したり新たな価値を生みだりする、実に面白い世界です。私たちは今、会社の存在意義を見つめなおし、界面活性になぞらえて、自分自身の仕事や人生をアクティブ(活性化)し、なお一層、社会や暮らしに役立つ会社になりたいと考えています。NICはいろん

な出合いでイノベーションをアクティブにする場。NICを通じて、人が人を呼ぶ連鎖を改めて感じる1年でもありました。HAPPY WORK PLACEで仕事を楽しく、NICのコンセプトを大切に進んでいきたいです。(I.N.)

## 日華化学株式会社

910-8670 福井県福井市文京 4-23-1 TEL.0776-24-0213(代)  
NICCA / www.nicca.co.jp NIC / nic.niccachemical.com

